

JIS

情報技術－プロセスアセスメント－第4部： プロセス改善及びプロセス能力判定のための 利用の手引

JIS X 0145-4 : 2010
(ISO/IEC 15504-4 : 2004)

平成 22 年 2 月 22 日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	秋 間 升	財団法人日本規格協会
	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	大 石 奈津子	財団法人日本消費者協会
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	大 蒔 和 仁	東洋大学
	筧 捷 彦	早稲田大学
	加 藤 泰 久	日本電信電話株式会社
	木 戸 彰 夫	日本アイ・ピー・エム株式会社
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	佐 野 眞 一	社団法人電子情報技術産業協会
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	高 橋 真理子	財団法人日本情報処理開発協会
	田 中 宏	総務省
	中 山 康 子	東芝総合人材開発株式会社
	橋 本 敏	総務省
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 田 隆 人	日本銀行金融研究所
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学
(専門委員)	安 藤 栄 倫	財団法人日本規格協会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 22.2.22

官 報 公 示：平成 22.2.22

原案作成協力者：財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成協力者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電子標準化推進室(〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1 E-mail:qqgcbd@meti.go.jp 又は FAX 03-3580-8625)にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 序	2
4.1 プロセス改善及びプロセス能力判定	2
4.2 プロセス改善及びプロセス能力判定の依頼者及びチーム	2
4.3 プロセス, 手引及び手法	3
4.4 プロセス改善－目的及び成果	3
4.5 プロセス能力判定－目的及び成果	3
4.6 プロセスアセスメント出力	4
5 プロセスアセスメントの利用	5
5.1 一般	5
5.2 プロセス参照モデルの選択	5
5.3 目標能力の設定	5
5.4 アセスメント入力の定義	7
5.5 プロセス関連リスクの評価	8
6 プロセス改善	10
6.1 概要	10
6.2 プロセス改善のステップ	11
7 プロセス能力判定	18
7.1 概要	18
7.2 プロセス能力判定のステップ	20
7.3 アセスメント出力分析の比較	22
附属書 A (参考) プロセス関連リスクの分析	24
附属書 B (参考) 再請負契約者及びコンソーシアム	29
附属書 C (参考) プロセス改善及び組織文化	31
参考文献	34
解 説	35

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づき、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本工業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権及び出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS X 0145 の規格群には、次に示す部編成がある。

JIS X 0145-1 第1部：概念及び用語

JIS X 0145-2 第2部：アセスメントの実施

JIS X 0145-3 第3部：アセスメント実施のための手引（予定）

JIS X 0145-4 第4部：プロセス改善及びプロセス能力判定のための利用の手引

情報技術—プロセスアセスメント—

第4部：プロセス改善及びプロセス能力判定のための 利用の手引

Information technology—Process assessment—Part 4 : Guideline on use for process improvement and process capability determination

序文

この規格は、2004年に第1版として発行された **ISO/IEC 15504-4** を基に、技術的内容及び対応国際規格の構成を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で点線の下線を施してある“注記”は、対応国際規格にない事項である。

注記 日本工業規格では、部で構成する規格がある場合、この部編成の規格全体を総称して、“規格群”と呼ぶ。この規格では、日本工業規格になっていない国際規格を含めて、規格全体を総称する場合は、“規格類”と呼ぶ。

なお、JIS X 0145 規格類には、JIS X 0145 規格群のほか、次の規格を含む。

ISO/IEC 15504-5, Information technology—Process Assessment—Part 5 : An exemplar Process Assessment Model

1 適用範囲

この規格は、プロセス改善プログラム又はプロセス能力判定における、規格に適合するプロセスアセスメントの利用方法に関する手引であり、情報だけを提供する。

本文中の例及び表は **JIS X 0160** のプロセスに基づいているが、この手引は、特定の組織構造、マネジメント思想、ライフサイクルモデル又は開発手法を前提としていない。

プロセス改善の場合、この規格の概念及び原則は、あらゆる範囲の異なる事業目標、適用分野及び組織規模に当てはまる。そのため、すべての種類の組織が利用してもよい。プロセス能力判定の場合、この手引は、いかなる顧客と供給者との関係にも、また、自分自身のプロセスのプロセス能力を判定したいと望むいかなる組織にも適用できる。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO/IEC 15504-4 : 2004, Information technology—Process assessment—Part 4 : Guidance on use for process improvement and process capability determination (IDT)

なお、対応の程度を表す記号 (IDT) は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、一致していることを示す。